

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第1回豊島区みどりの基本計画策定委員会	
事務局（担当課）		公園緑地課	
開催日時		令和3年12月13日（月）16時30分～19時00分	
開催場所		豊島区役所9F 第二委員会室	
議題		1 開会挨拶・委員紹介 (1) 開会挨拶 (2) 委員自己紹介 2 検討委員会と進め方について (1) 本日の内容と策定委員会について (2) 委員会の傍聴について 3 みどりの基本計画の目的などについて (1) みどりの基本計画を策定する目的、計画の位置付けなど (2) 策定委員会の予定 (3) 豊島区みどりの基本計画（2023）の構成の素案 4 議 事 (1) みどりの特徴と計画の進捗状況の説明 (2) 改定の背景と視点の説明 (3) 目標の達成状況と計画目標の案の説明 *上記の説明後、意見交換 5 その他 ・連絡事項、次回予定など 6 閉会挨拶	
公開の 可否	会議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 1人	
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開	
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
出席者	委員	学識経験者 東京農業大学 教授 入江 彰昭 学識経験者 千葉大学 准教授 竹内 智子 関係団体 豊島区観光協会 会長 近江 正典 関係団体 豊島みどりの会 紫垣 敬子 関係団体（企業）東邦レオ株式会社 清水 真樹 関係団体（企業）西武造園株式会社 東京支店 沖 三奈絵 区民委員 波多江 美由紀 区民委員 前野 益子 区民委員 久崎 諒也 区職員 環境清掃部長 高桑 光浩 （敬称略）	
	その他		
	事務局	豊島区 都市整備部 土木担当部長 宮川 勝之 豊島区 都市整備部 公園緑地課 片山 裕貴 横田 雅彦 菅井 章 株式会社 総合設計研究所 石井 ちはる 池本 加奈子	

審 議 経 過

No. 1

会議の結果

●**主な意見のまとめ**（⇒：意見に対する委員の意見・事務局の回答）
委員会の設置の目的等（みどりの基本計画の改定の目的と進め方、委員会スケジュール）、及び議事（改定の背景とみどりの課題、計画目標の案）を事務局から提示し、意見交換を行った。

【中小規模公園活用プロジェクトについて】

- ・パークトラックなどの良い取組が行われているのに、限定された地域にしか周知されていなかった。（波多江委員）
⇒情報端末のツールの活用等によるPR等を図っていくことが今後の課題。（事務局）

【公園利用の集中について】

- ・まとまった面積の公園に複数の保育園の利用が集中しており、午前中は利用密度が高くなるため、解決できないか。（前野委員）
⇒既成市街地に新たな公園を作ることは難しい状況。既存の公園は人気が一極化しており、利用の少ない公園の魅力づくりとして「おもちゃ倉庫」のような試験的な取組を始めており、利用者に人気がある。鍵の運用方法などは今後の課題となる。（事務局）

【おもちゃ倉庫について】

- ・現在は倉庫の鍵を保育園で管理しており、誰もが利用可能にするために鍵を地域で管理することは責任が発生するため、スマホアプリで鍵を予約したり、アプリでスキャンすれば鍵を開けられるなど、区でコントロールできる使い方ができないか。（沖委員）
⇒特定の方々の利用だけでなくシェアリングしていく発想は大事。（入江会長）

【公園のホームレスについて】

- ・子どもの遊び場とホームレスの両立は難しく、公園整備によって行き場のない人が出てしまうことは事実である。（近江委員）
⇒公園整備と福祉を連携しながら解決に結びつけていく必要がある。（事務局）

【公園の人気について】

- ・人気のある公園とない公園があるとのことだが、具体的に公園名を上げていただけるとイメージしやすい。（久崎委員）
⇒最近の一番人気は、最近整備された「としまみどりの防災公園」で、非常に多くの人々が来ている。（事務局）

【緑化計画について】

- ・建築物新築の際の緑化計画との連携についてはどうなっているか。（前野委員）
⇒一定面積を超える建築計画を出す場合には緑化計画書を提出していただく。地上部の緑化、屋上緑化により目に入りやすい緑を増やし、公共施設だけでなく民間施設も合わせて豊島区の緑に貢献していただくという仕組みを行っている。（事務局）

会議の結果	【みどりの効果】 ・地域住民が憩える場所を創出することが重要である。街のなかに木のベンチひとつでもあると良い。ビオトープとまではいかずとも、木と水の組み合わせによる人を和ませる場所があると良い。（前野委員） ・コンクリートで地面を被ってしまうのではなく、少しでも地面を残して木を1本植えることが大事。100本の木をまとめて植えるより100軒の家が1本ずつ木を植えた方が街を冷やすと言われている。（紫垣委員） ・駐車場の緑化を推進した方が良い。緑化ブロック（大規模マンション等の駐車場では使用されにくい 前野委員）、フェンスの壁面緑化（紫垣委員）を推進してはどうか。 ・雨水利用による屋上緑化を推進してはどうか。（前野委員） ⇒雨水貯水槽に対する補助を環境政策課で実施中。（高桑委員） 【コロナ禍のニーズ】 ・社会人が平日屋外でオンライン会議をするのがあたりまえの時代になった。全ての世代のニーズを扱うのは難しいが、公園利用者の変化に対応していく必要がある。（沖委員） 【環境教育】 ・子どもたちに緑は大切ということを学び感じながら育ててほしい。植樹イベントや花の配布などの活動が緑を増やすことにつながる。（波多江委員） 【新たな目標について】 ・豊島区は公園整備を頑張ってきたという印象があるが、今回の目標では未達成のものもある。当初の目標設定が厳しいのではないかな。今の目標では、パークトラックの取組のような、コミュニティの形成の成果が測れない。次の目標設定では、実感に即した新しい指標をつくるのが良いと考える。（竹内副会長） ⇒新しい指標として公園の満足度という目標を掲げることを検討しており、ご意見は今後の検討に加えていただきたい。（事務局） ⇒数値化しづらい満足度をどのように評価するのか、この委員会での重要な検討事項となる。（清水委員） ・みどりとの関わりの目標で、ガーデニング講習会の開催、協定花壇を増やすの2項目を新たな重点目標とするのは疑問である。（沖委員） ⇒これは一例として挙げており、ご意見を伺いながら設定していきたい。協定花壇は現在も行っている試み。また、公園の一角で野菜や花を育てることにより地域の交流が生まれる。防災公園ではコミュニティガーデンを設けており、レストランで出た食品廃棄物をコンポストで堆肥化したり、育てた野菜の一部をレストランでも使うなどSDGsにつながる考え方も取り入れており、そのような試みを今後も行っていきたい。（事務局）
-------	---

審 議 経 過

No. 3

会議の結果	【公園管理について】 ・ 沢山の小さな公園があるが、管理方法はどうなっているか。（入江会長） ⇒できる限り地域の公園は地域で管理していただくのが理想であり、雑司が谷公園では防災に関して意識の高い方々がNPO法人を立ち上げ、公園管理の一部を担っている。指定管理制度により周辺の公園も一括して管理していただくことを検討中。 ⇒公園区（パークディストリクト）という考え方のもと、小さな公園を1つの団体が管理するのではなく、地域ごとに地域に存在する公園をマネジメントする動きは行政でも行っている。活動しやすい仕組み作りが大事。（入江会長） 【次回に向けて】 ・ 本日皆様からのご意見を整理させていただきながら、事務局とも相談し、第二回策定委員会に向けての草案を会長、副会長で整理したい。（入江会長）
-------	---

提出された資料等	資料1 委員会構成メンバー 資料2 豊島区みどりの基本計画策定委員会設置要綱 資料3 豊島区みどりの基本計画策定委員会の傍聴について 資料4 豊島区みどりの基本計画について 1 計画の目的 2 みどりの基本計画とは 3 計画の対象範囲 4 計画の期間 資料5 策定委員会の予定 資料6 豊島区みどりの基本計画（2023）の構成の素案 資料7 みどりの特徴と計画の進捗状況 資料8 改定の背景と視点 資料9 目標の達成状況と計画目標の案 参考資料1 豊島区の概要 参考資料2 豊島区のみどりの現状 参考資料3 豊島区のみどりの取組 参考資料4 現行計画の施策の達成状況 参考資料5 「豊島区みどりの基本計画」（平成28年3月見直し） 策定以降の動向と関連計画の整理 参考資料6 隣接区の緑の基本計画の整理 参考資料7 都市緑地法（抜粋） 別 冊 ○豊島区みどりの基本計画（平成28年3月見直し） ○豊島区みどりの基本計画（平成28年3月見直し）概要版 ○豊島区環境基本計画2019～2030 概要版 ○豊島区都市公園等現況図（令和3年1月1日現在）
その他	